

工事成績評定等実施要領

(目的)

第1条 この要領は、成田市建設工事検査規程(昭和56年12月28日訓令第22号。以下「検査規程」という。)に基づく工事の成績評定に関し必要な事項を定めることにより、成田市が所掌する請負工事の適性かつ効率的な施工を確保し工事に関する技術水準の向上に資するとともに、受注者の適正な選定及び指導育成を図ることを目的とする。

(対象工事)

第2条 工事の成績評定(以下「成績評定」という。)の対象とする工事は、請負金額が1件**200万円を超える**工事を対象とし評定するものとする。

(評定者)

第3条 成績評定を行う者(以下「評定者」という。)は、監督員、主任監督員及び検査職員とする。

- 2 監督員を専任しない場合、監督員の評定者を主任監督員とし、主任監督員の評定者を総括監督員とする。
- 3 それぞれの評定者が複数の場合は、相互に協議して評定するものとする。

(成績評定の時期)

第4条 成績評定の時期は、検査職員にあっては検査実施の都度、監督員及び主任監督員にあっては工事の完成の時とする。

(成績評定の方法)

第5条 成績評定は、工事ごとに独立して行うものとする。

- 2 成績評定における採点は、工事成績採点表(別紙1)により行うものとし、検査規程に定める工事成績評定書に反映させるものとする。また、項目別評定点の算出は、項目別評定点採点表(別紙2)により行うものとし、項目別評定表(別紙3)に反映させるものとする。
- 3 工事成績採点表の作成に当たっては、土木工事は、工事成績採点の考査項目別運用表(別紙4～別紙6)、建築・設備工事は、工事成績採点の考査項目別運用表(別紙7～別紙9)により行い、記入方法及び留意事項(別紙10)、施工プロセスのチェックリスト(別紙11)を考慮するものとする。
- 4 工事における「創意工夫」及び「社会性等」に関しては、受注者は当該工事における実施状況を創意工夫・社会性等に関する実施状況(別紙12)により提出できるものとし、提出があった場合はこれを考慮するものとする。
- 5 請負金額が500万円以上と500万円未満の工事では、工事成績採点の考査項目別運用表の記載に従い、評価対象項目を使い分けるものとする。
- 6 考査項目の採点方法は、次に掲げるとおりとする。

(1) 出来形・中間検査があった場合

$$\text{評定点合計 (6)} = (\text{1} \times 0.4 + \text{2} \times 0.2 + \text{3} \times 0.2 + \text{4} \times 0.2) - \text{5}$$

出来形・中間検査がなかった場合

$$\text{評定点合計 (6)} = (\text{1} \times 0.4 + \text{2} \times 0.2 + \text{4} \times 0.4) - \text{5}$$

(2) 出来形・中間検査が2回以上あった場合は、評定点(3)は、出来形・中間検査を合わせた平均点を記入する。

(3) 出来形検査のうち部分引渡検査の場合は、前条の規定にかかわらず監督員、主任監督員及び検査職員がそれぞれ評定を行い、完成の際に、完成検査時の評定点と金額で加重平均により評定点を記入する。

(4) 評定点(1~4)は、小数第1位(小数第2位を四捨五入)までとする。

(5) 法令遵守等(5)は、主任監督員が記入する。

(6) 評定点合計(6)は、四捨五入により整数とする。

(7) 所見は、必ず記入する。

(8) 手直しを指示した場合には、手直し前の状態で採点し、手直し後の評価はしないものとする。

7 工事成績の判定は、工事成績評定点をもって別表のとおりとする。

(成績評定結果等の通知等)

第6条 成績評定結果については、検査規程における工事完成検査結果通知書及び前条第2項の項目別評定表により受注者に通知するものとする。

2 前項の通知書に評定点及びランクを明記するものとする。

3 第1項の項目別評定表を、監督員に送付するものとする。

(成績評定点の修正)

第7条 引き渡し後、瑕疵担保期間中に関係法令違反、事故等により瑕疵が判明したときは、再度工事成績採点を見直し受注者に工事成績評定通知書(別紙13)で通知するとともに、成績評定結果を修正するものとする。

(説明請求等)

第8条 第6条又は前条による通知を受けた者は、当該通知を受けた日から起算して14日以内に工事成績評定の説明請求(別紙14)により、市長に当該通知の内容について説明を求めることができるものとする。

2 市長は、前項の説明を求められたときは、工事成績評定の説明請求に対する回答(別紙15)により速やかに回答するものとする。

(再説明請求等)

第9条 前条第2項の回答を受けた者は、当該回答を受けた日から起算して14日以内に、工事成績評定の再説明請求(別紙16)により、市長に対し再度説明を求めることができる。

2 市長は、前項の説明を求められたときは、工事成績評定の再説明請求に対する回答

(別紙17)により速やかに回答するものとする。

3 市長は、前項の回答をする場合は、工事成績評定結果審議依頼書(別紙18)により、工事成績評定評価委員会(以下「委員会」という。)に意見を聞くものとする。ただし軽易で事務的に処理できるものはこの限りでない。

4 前項の委員会は、別に定める工事成績評定評価委員会設置要領に基づき設置するものとする。

(説明請求の提出先)

第10条 前2条の請求書の提出先は、工事検査主管課とする。

附 則

この要領は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和8年4月1日から施行する。

別表

ランク	工事成績評定点	評 価
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事
B	75～80点未満	Aランクではないが、標準的な工事のなかで優秀なもの
C	65～75点未満	標準的な工事
D	60～65点未満	Eランクではないが、今後の工事施工において改善すべき事項のある工事
E	60点未満	今後指名等に影響を及ぼすおそれのある工事

別紙 1

工 事 成 績 採 点 表		□完成検査 ・出来形 □部分払検査 □部分引渡検査 ・中 間 □確認検査 □部分使用検査																																
工 事 名												契約金額 (最終)	円																					
受 注 者 名												契約工期 (最終)	年 月 日 ~ 年 月 日				完成等年月日	年 月 日																
考 査 項 目		監督員					主任監督員					検査職員(第 回 出来形・中間)					検査職員(第 回 出来形・中間)					検査職員 (完成)												
		氏名					氏名					氏名					氏名					氏名												
項目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																												
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																												
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15																					
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15																					
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																												
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応						+20.0					0																						
5. 創意工夫	I. 創意工夫	+7.0				0																												
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10	+7.5	+5.0	+2.5	0																							
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		± 点					± 点					± 点					± 点																	
評定点 (6.5点±加減点合計)		① 点					② 点					③ 点					④ 点																	
7. 評定点計		点					○出来形・中間検査があった場合： (① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.2+④ 点×0.2) = 点																											
		※ただし、③ (出来形・中間) が2回以上の場合は、平均値																																
		点					○出来形・中間検査がなかった場合： (① 点×0.4+② 点×0.2+④ 点×0.4) = 点																											
8. 加重平均による評定点							点																											
9. 法令遵守等 ⑤							— 点																											
10. 評定点合計 ⑥		点					○7.評定点計 (点) - 9.法令遵守等 (点) = 点																											
所 見		(監督員)										(主任監督員)										(検査職員)												

- 注 1) 請負金額 **200**万円を**超える**工事を対象とする。
 2) 1. 2. 3. の評定 (6.5点±加減点合計) + 4. 5. 6. の評定 (加点合計) = 評定点
 評定点 (①~④) は、小数第1位までとする。
 3) 出来形・中間検査があった場合 ① × 0.4 + ② × 0.2 + ③ × 0.2 + ④ × 0.2 = 評定点計
 出来形・中間検査がなかった場合 ① × 0.4 + ② × 0.2 + ④ × 0.4 = 評定点計
 4) 出来形・中間検査が2回以上あった場合は、評定点 (③) は、出来形・中間検査を合わせた平均点を記入する。
 5) 出来形検査のうち部分引渡検査の場合は、監督員、主任監督員及び検査職員がそれぞれ評定を行い、完成の際に、完成検査時の評定点と金額で加重平均により評定点を記入する。
 6) 各考査項目の採点は、工事成績採点の考査項目別運用表により行うものとする。
 7) 5. 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目であり、評価に当たっては、主任監督員による合議を原則とする。
 8) 法令遵守等 (⑤) は、主任監督員が記入する。
 9) 評定点合計 (⑥) は、四捨五入により整数とする。
 10) 所見は、必ず記入する。

別紙2

項目別評定点採点表		□完成検査 ・出来形 □部分払検査 □部分引渡検査 ・中間 □確認検査 □部分使用検査		契約金額(最終)		円			
工事名				契約工期(最終)		年月日～年月日		完成等年月日	
検査項目	細別	①監督員	②主任監督員	③検査職員(第 回 出来形・中間)	③検査職員(第 回 出来形・中間)	④検査職員(完成)	細目別評定点	得点割合	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	(1.0) × 0.4 + 2.9 = 3.3点					3.3点	3.3点	3.3%
	II. 配置技術者	(3.0) × 0.4 + 2.9 = 4.1点					4.1点	4.1点	4.1%
2. 施工状況	I. 施工管理	(4.0) × 0.4 + 2.9 = 4.5点		(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.5点	(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.5点	(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.5点	13.0点	13.0点	13.0%
	II. 工程管理	(4.0) × 0.4 + 2.9 = 4.5点	(2.0) × 0.2 + 3.2 = 3.6点				8.1点	8.1点	8.1%
	III. 安全対策	(5.0) × 0.4 + 2.9 = 4.9点	(3.0) × 0.2 + 3.3 = 3.9点				8.8点	8.8点	8.8%
	IV. 対外関係	(2.0) × 0.4 + 2.9 = 3.7点					3.7点	3.7点	3.7%
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	(4.0) × 0.4 + 2.8 = 4.4点		(10.0) × 0.4 + 6.5 = 10.5点	(10.0) × 0.4 + 6.5 = 10.5点	(10.0) × 0.4 + 6.5 = 10.5点	14.9点	14.9点	14.9%
	II. 品質	(5.0) × 0.4 + 2.9 = 4.9点		(15.0) × 0.4 + 6.5 = 12.5点	(15.0) × 0.4 + 6.5 = 12.5点	(15.0) × 0.4 + 6.5 = 12.5点	17.4点	17.4点	17.4%
	III. 出来ばえ			(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.5点	(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.5点	(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.5点	8.5点	8.5点	8.5%
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		(20.0) × 0.2 + 3.3 = 7.3点				7.3点	7.3点	7.3%
5. 創意工夫	I. 創意工夫	(7.0) × 0.4 + 2.9 = 5.7点					5.7点	5.7点	5.7%
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		(10.0) × 0.2 + 3.2 = 5.2点				5.2点	5.2点	5.2%
7. 評定点計							100.0点	100.0点	100.0%
9. 法令遵守等			(0.0) × 1.0 = 0.0点				- 点		
10. 評定点合計							100.0点		

注 1) 出来形・中間検査があった場合 (①+②+③×0.5+④×0.5) = 細目別評価点 (出来形・中間検査が2回以上あった場合は、③を平均する。)
 2) 出来形・中間検査がなかった場合 (①+②+④) = 細目別評価点
 3) 得点割合は、細目別評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

項目別評定表

工事名	
-----	--

評価項目	細別	細目別評定点	満点 (基準点)
1. 施工体制	I. 施工体制一般		3.3点 (2.9)点
	II. 配置技術者		4.1点 (2.9)点
2. 施工状況	I. 施工管理		13.0点 (9.4)点
	II. 工程管理		8.1点 (6.1)点
	III. 安全対策		8.8点 (6.2)点
	IV. 対外関係		3.7点 (2.9)点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形		14.9点 (9.3)点
	II. 品質		17.4点 (9.4)点
	III. 出来ばえ		8.5点 (6.5)点
4. 工事特性	施工条件等への対応		7.3点 (3.3)点
5. 創意工夫	創意工夫		5.7点 (2.9)点
6. 社会性等	地域への貢献度等		5.2点 (3.2)点
7. 法令遵守等 (減点のみ)		—	— 0～20点
評定点合計			100点 (65)点

注 1) 65点を基準点とし、評価項目ごとの合計により評定点合計を記入する。

2) 評定点は、評定点合計の小数第1位を四捨五入により整数とする。

3) 端数処理の関係で評価項目ごとの合計と評定点合計が一致しない場合がある。

別紙 4 工事成績採点の考査項目別運用表

土木工事

監督員

【監督員】

考查項目	細 別	工 種	シート
1. 施工体制	I. 施工体制一般		1
	II. 配置技術者		
2. 施工状況	I. 施工管理		2
	II. 工程管理		
	III. 安全対策		3
	IV. 対外関係		
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	土木工事	4
		維持・修繕工事	5
		水道工事	
		機械設備工事	6
		電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事	
	II. 品質	土木工事	7
		維持・修繕工事	8
		水道工事	
		機械設備工事	9
		電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事	
5. 創意工夫	I. 創意工夫		10

別紙4 (1)

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	1. 施工体制一般	適切である (評価値が90%以上)	ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	やや不適切である	不適切である	
		●評価対象項目 No 対象評価					
	500万円未満	1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の主旨を作業員等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備され、施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。			<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。	
	500万円以上 ※全項目対象	7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督職員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、製工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 最終請負金額500万円未満は「1～6」、500万円以上は「1～13」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「7～13」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ④ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入					
II. 配置技術者 (現場代理人等)		適切である (評価値が90%以上)	ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	やや不適切である	不適切である	
		●評価対象項目 No 対象評価					
	500万円未満	1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 監督職員への報告を適時及び的確に行っている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応している。			<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。	
	500万円以上 ※全項目対象	6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者を選任及び配置している。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業に必要な専門技術者を選任及び配置している。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 最終請負金額500万円未満は「1～5」、500万円以上は「1～11」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「6～11」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ④ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入					

別紙4 (2)

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】 _____

審査項目	細別	a 適切である (評価値が90%以上)	b ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	d やや不適切である	e 不適切である
2. 施工状況	I. 施工管理	●評価対象項目 No 対象評価			やや不適切である	不適切である
	500万円以上 ※全項目対象	500万円未満	1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したもとなっている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の品質保証書等または工事写真記録等が適切に整理されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事打合せ簿を、不足無く整理している。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 最終請負金額500万円未満は「1～10」、500万円以上は「1～12」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「11～12」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ④ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入				
II. 工程管理	●評価対象項目 No 対象評価			やや不適切である	不適切である	
500万円以上 ※全項目対象	500万円未満	1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業が無い。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、工程の遅れが無い。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				
	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 最終請負金額500万円未満は「1～5」、500万円以上は「1～9」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「6～9」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ④ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入					

別紙4 (3)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】

考查項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	III. 安全対策	適切である (評価値が90%以上)	ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	やや不適切である	不適切である	
		●評価対象項目 No 対象評価				□ 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	□ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円未満	1 □ □ 災害防止協議会等を1回/月以上行っている。 2 □ □ 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。 3 □ □ 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。 4 □ □ 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。 5 □ □ 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 6 □ □ 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 7 □ □ 過積載防止に取り組んでいる。					
	500万円以上 ※全項目対象	8 □ □ 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、管理されている。 9 □ □ 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 10 □ □ 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 11 □ □ 店社/トロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 12 □ □ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 13 □ □ その他 (理由: _____)					
	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 最終請負金額500万円未満は「1～7」、500万円以上は「1～12」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「8～12」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ④ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入						
IV. 対外関係		適切である (評価値が90%以上)	ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	やや不適切である	不適切である	
		●評価対象項目 No 対象評価				□ 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	□ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円未満	1 □ □ 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 2 □ □ 地元との調整を行い、苦情やトラブルの発生が無い。 3 □ □ 地元や第三者からの苦情に対して適切な対応を行っている。 4 □ □ 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 5 □ □ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。					
	500万円以上 ※全項目対象	6 □ □ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 7 □ □ その他 (理由: _____)					
	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 最終請負金額500万円未満は「1～5」、500万円以上は「1～6」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「6」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ④ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入						

別紙4 (4)

工事名 _____

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【監督員】

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来 ばえ 1. 出来形	土木工事	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
		<p>※ ばらつきの判断は別紙10参照。</p> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法という。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 出来形管理の主たる測定値が5点未満の工事は規格値を満足していればC評価とする。</p>				

別紙4 (5)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】

審査項目	工種	a 適切である (評価値が90%以上)	b ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	d やや不適切である	e 不適切である
3. 出来形及び出来 ばえ	維持・修繕工事					
1. 出来形		<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 出来形測定値を測定結果一覧表や総括表により適切にまとめられていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 社内規格値を設定し、適切に管理していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 社内の写真管理基準を設定し、創意工夫を持って適切に管理している。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準に基づく測定値は、すべて規格値内である。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 請負金額に関わらず「1~7」を必須の評価対象項目とする。</p> <p>④ 工事内容により該当なければ評価対象項目の削除してもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p>				
	水道工事 (管布設工事)					
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 出来形測定値を測定結果一覧表や総括表により適切にまとめられていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 全般にわたり、形状及び寸法の実測値が規格値内である。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> バルブ及び配管オフセット等が適切である。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> バルブ・配管のオフセット及び管理設置等の出来形図面が提出されている。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 材料等の搬入の証明となる資料(伝票類)が整理されていた。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 継手チェックシートや切管調書を整理し、使用数量を明確にしている。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 請負金額に関わらず「1~10」を必須の評価対象項目とする。</p> <p>④ 工事内容により該当なければ評価対象項目の削除してもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p>				

別紙4 (6)

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名

【監督員】

審査項目	工種	a 適切である (評価値が90%以上)	b ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	d やや不適切である	e 不適切である
3. 出来形及び出来 ばえ	機械設備工事	●評価対象項目 No 対象評価 1 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 2 <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 3 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 4 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 5 <input type="checkbox"/> 配管及び配線を、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 6 <input type="checkbox"/> 撮影記録が写真管理基準を満足している。 7 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 8 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 9 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 10 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。 11 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 12 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 13 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 14 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 15 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 請負金額に関わらず「1～14」を必須の評価対象項目とする。 ④ 工事内容により該当なければ評価対象項目の削除してもよい。 ⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。	【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
1. 出来形						
	電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事	●評価対象項目 No 対象評価 1 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 2 <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 3 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 4 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 5 <input type="checkbox"/> 配管及び配線を、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 6 <input type="checkbox"/> 撮影記録が写真管理基準を満足している。 7 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 8 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 9 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 10 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。 11 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 請負金額に関わらず「1～10」を必須の評価対象項目とする。 ④ 工事内容により該当なければ評価対象項目の削除してもよい。 ⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。	【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。

別紙4 (7)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】

調査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来 ばえ II. 品質	土木工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別紙10参照。 ① 品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。 なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で品質管理を行うものである。 ④ 品質管理の主たる測定値が10点未満の工事は規格値を満足していればC評価とする。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。

別紙4 (8)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】

審査項目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来 ばえ		適切である (該当項目が6項目以上)	ほぼ適切である (該当項目が4項目以上)	他の評価に該当しない (該当項目が3項目以下)	やや不適切である	不適切である
II. 品質	維持・修繕工事	●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 2 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 3 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 4 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。 5 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 6 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 7 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 8 <input type="checkbox"/> 理由: _____			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
		① 請負金額に関わらず「1～4」を必須の評価対象項目とする。 ② 評価対象項目は最大8項目とする。 ③ 評価項目を追加する場合は「5～8」で行い、理由を必ず明記する。				
		a	b	c	d	e
		適切である (評価値が90%以上)	ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	やや不適切である	不適切である
	水道工事 (管布設工事)	●評価対象項目 No 対象評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質試験は、測定頻度・測定項目とも品質管理基準に規定された必要数実施されていた。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質試験の結果が適切にまとめられており、品質が容易に確認できた。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料等の品質規格証明書(配合表、ミルシート、検査証明書等)が整理されていた。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料等の品質証明に伴う試験方法は、設計図書に定められたもの又は監督員の承諾を受けたものであった。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管・継手等の加工、接合は種類に応じた適切な方法で施工されており、写真記録等により確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の保管や良好な作業環境の確保など、品質確保のための配慮が顕著であった。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 請負金額に関わらず「1～6」を必須の評価対象項目とする。 ④ 工事内容により該当しなければ評価対象項目の削除してもよい。 ⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。				
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>				

別紙4 (9)

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名

【監督員】

考查項目	工種	a 適切である (評価値が90%以上)	b ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	d やや不適切である	e 不適切である
3. 出来形及び出来 ばえ						
II. 品質	機械設備工事	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能を、設計図書または承諾図書のとおり確保している。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様(品質や性能)を踏まえた詳細設計や技術検討を行い、承諾図書として提出している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績表等の報告書にまとめられている。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の配置、機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、点検や部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> ハルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札を、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 請負金額に関わらず「1～17」を必須の評価対象項目とする。</p> <p>④ 工事内容により適宜評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>				
	電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事	a 適切である (評価値が90%以上)	b ほぼ適切である (評価値が80%以上90%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	d やや不適切である	e 不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能を、設計図書または承諾図書のとおり確保している。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様(品質や性能)を踏まえた詳細設計や技術検討を行い、承諾図書として提出している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績表等の報告書にまとめられている。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の配置、機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札を、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 請負金額に関わらず「1～12」を必須の評価対象項目とする。</p> <p>④ 工事内容により適宜評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>				

別紙4 (10)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】 _____

審査項目	細別	工夫事項
5. 創意工夫	1. 創意工夫	<p>【施工】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 測量・位置出し等、事前の現地調査に関する工夫 2 <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫 3 <input type="checkbox"/> 既設コンクリート構造物の再利用や現地に合わせた加工に関する工夫 4 <input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫 5 <input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫 6 <input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫 7 <input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫 8 <input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫 9 <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫 10 <input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械等に関する工夫 11 <input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工、仮棧橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫 12 <input type="checkbox"/> 盛土の締固め度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫 13 <input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫 14 <input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫 15 <input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫</p> <p>【品質】</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 土工、設備、電気等工事における品質向上に関する工夫 17 <input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生等の品質に関する工夫 18 <input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫 19 <input type="checkbox"/> 配筋、溶接作業等に関する工夫</p> <p>【安全衛生】</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) 21 <input type="checkbox"/> 安全衛生教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫 22 <input type="checkbox"/> 現場事務所、労働者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫 23 <input type="checkbox"/> 酸欠対策並びに有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止や作業中の換気等に関する工夫 24 <input type="checkbox"/> 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保のための工夫 25 <input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫 26 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫</p> <p>【その他】</p> <p>27 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____ 28 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____ 29 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____ 30 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____ 31 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____ 32 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____ 33 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____</p>
	<p>記述評価 (「レ」マークを付した評価内容を詳細記述)</p> <p>評点: 点</p>	<p>【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
		<p>① 評価は原則、受注者から様式による提出があったものを対象とする。 ② 加点は1項目1点とし、最大7点とする。 ③ 主任監督員「工事特性」との二重評価はしない。 ④ 加点評価をした場合は、その詳細・具体的内容について記述する。 ⑤ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p>

別紙5 工事成績採点の考査項目別運用表

土木工事

主任監督員

【主任監督員】

考查項目	細 別	工 種	シート
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理		1
	Ⅲ. 安全対策		
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		2
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		3
9. 法令遵守等			4

別紙5 (1)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【主任監督員】 _____

審査項目	細別	a 優れている (該当項目が3項目以上)	b やや優れている (該当項目が2項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が1項目以下)	d やや劣っている	e 劣っている
2. 施工状況	II. 工程管理	<p>●評価対象項目</p> <p>No評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事との工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関等との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p>			<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>① 請負金額に関わらず、当該工事の施工内容に該当する評価対象項目を選択し、その個数により評価する。</p> <p>② その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p>				
	III. 安全対策	<p>a 優れている (該当項目が3項目以上)</p> <p>b やや優れている (該当項目が2項目)</p> <p>c 他の評価に該当しない (該当項目が1項目以下)</p>			<p>d やや劣っている</p>	<p>e 劣っている</p>
		<p>●評価対象項目</p> <p>No評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p>				
		<p>① 請負金額に関わらず、当該工事の施工内容に該当する評価対象項目を選択し、その個数により評価する。</p> <p>② その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p>				

別紙5 (3)

工事名 _____

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【主任監督員】

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	1. 地域への貢献等	優れている (該当項目が4項目以上)	bより優れている (該当項目が3項目)	やや優れている (該当項目が2項目)	cより優れている (該当項目が1項目)	他の評価に該当しない (該当項目なし)
<p>●評価対象項目</p> <p>No評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 道路清掃などを定期的に実施し、地域に貢献した。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加するなど、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p>						
<p>① 請負金額に関わらず、当該工事の施工内容に該当する評価対象項目を選択し、その個数により評価する。</p> <p>② その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p>						

別紙6 工事成績採点の考査項目別運用表

土木工事

検査職員

【検査職員】

考查項目	細 別	工 種	細 目	シート
2. 施工状況	I. 施工管理			1
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	土木工事		2
〃	〃	機械設備工事		3
〃	〃	電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事		4
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 III. 出来ばえ	コンクリート構造物工事	コンクリート二次製品工事を除く	5
〃	〃	土工事	切土、盛土、堤防等工事	6
〃	〃	土工事	汚染土壌処理	7
〃	〃	法面工事		8
〃	〃	基礎工事及び地盤改良工事		9
〃	〃	舗装工事		10
〃	〃	擁壁工事等	ブロック積	11
〃	〃	擁壁工事等	鋼製枠	12
〃	〃	補強土壁工事		13
〃	〃	コンクリート二次製品工事	側溝、集水桝等の小型構造物	14
〃	〃	コンクリート二次製品工事	L型擁壁、ボックスカルバート等の大型構造物	15
〃	〃	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事		16
〃	〃	下水道工事	開削	17
〃	〃	下水道工事	推進、シールド	18
〃	〃	下水道工事	管渠、マンホール更生	19
〃	〃	上水道工事		20
〃	〃	水管橋工事		21
〃	〃	鋼橋工事	R C床版工事はコンクリート構造物に準ずる。	22
〃	〃	コンクリート橋上部工事	P C及びR Cを対象	23
〃	〃	橋梁下部工事		24
〃	〃	塗装工事		25
〃	〃	トンネル工事		26

【検査職員】

考査項目	細 別	工 種	細 目	シート
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質 Ⅲ. 出来ばえ	公園工事		27
〃	〃	植栽工事		28
〃	〃	グラウンド・コート舗装工事	野球場・グラウンド・芝舗装・テニスコート等	29
〃	〃	防球ネット工事・防砂ネット工事		30
〃	〃	競技場改修工事		31
〃	〃	電線共同溝工事		32
〃	〃	維持工事	清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等	33
〃	〃	修繕工事	橋脚補強、耐震補強、落橋防止等	34
〃	〃	鋼橋補修工事	炭素繊維シート工法	35
〃	〃	護岸・根固・水制工事		36
〃	〃	地すべり防止工事	抑止杭、集水井工事を含む。	37
〃	〃	地すべり防止工事	抑止アンカー工事、暗渠排水工事、集水ボーリング	38
〃	〃	落石防止工事	落石防止ネット、落石防止柵	39
〃	〃	軽量盛土工事		40
〃	〃	さく井工事		41
〃	〃	木柵工事		42
〃	〃	浚渫・河道掘削工事		43
〃	〃	仮設工事	親杭横矢板、覆工板	44
〃	〃	仮栈橋工事		45
〃	〃	ほ場整備工事	整地工等	46
〃	〃	ほ場整備工事	暗渠排水工	47
〃	〃	機械設備工事		48
〃	〃	電気設備工事		49
〃	〃	通信設備工事・受変電設備工事		50
〃	〃	上記以外の工事		51

別紙6 (1)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【 検査職員 】

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	1. 施工管理	優れている (評価値が90%以上)	やや優れている (評価値が80%以上90%未満)	他の評価に該当しない (評価値が80%未満)	やや劣っている	劣っている	
		●評価対象項目 No 対象評価				□ 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。	□ 施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円未満	1 □ □ 契約書第19条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 2 □ □ 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 3 □ □ 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなることが確認できる。 4 □ □ 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 5 □ □ 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 6 □ □ 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 7 □ □ 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 8 □ □ 段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。 9 □ □ 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 10 □ □ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 11 □ □ 建設業退職金共済制度の証紙が適切に配布され管理されている。 12 □ □ 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っていることが確認できる。 13 □ □ 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。					
500万円以上 ※全項目対象	14 □ □ 見本または工事記録写真等の整理に工夫がみられる。 15 □ □ 下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 16 □ □ 関係機関の管理基準がない場合、監督員と協議し管理基準等を設定して適切に管理している。 17 □ □ 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 18 □ □ その他 (理由: _____)						
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 最終請負金額500万円未満は「1～13」、500万円以上は「1～17」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「14～17」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ④ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入					

別紙6 (2)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	土木工事	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p>						
		<p>※ ばらつき判断は別紙10参照。</p> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法という。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。</p> <p>④ 出来形管理の主たる測定値が5点未満の工事は規格値を満足していればC評価とする。</p>						

別紙6 (3)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工 種	a 優れている (評価値が90%以上)	a' bより優れている (評価値が80%以上90%未満)	b やや優れている (評価値が70%以上80%未満)	b' cより優れている (評価値が60%以上70%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が60%未満)	d やや劣っている	e 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p>				<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>	
I. 出来形		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 請負金額に関わらず「1~10」を必須の評価対象項目とする。</p> <p>④ 工事内容により該当しなければ評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>						

別紙6 (4)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a 優れている (評価値が90%以上)	a' bより優れている (評価値が80%以上90%未満)	b やや優れている (評価値が70%以上80%未満)	b' cより優れている (評価値が60%以上70%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が60%未満)	d やや劣っている	e 劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>	
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 請負金額に関わらず「1~11」を必須の評価対象項目とする。</p> <p>④ 工事内容により該当なければ評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。</p>							
		<p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>							

別紙6 (5)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検 査 職 員 】

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																										
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造物工事 (コンクリート二次製品工事を除く)	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>□ 50%以下 □ 80%以下 □ 80%を超える</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙10参照。</p>						<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																									
	II. 品質	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 □ □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>2 □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>3 □ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>4 □ □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリートを含む)</p> <p>5 □ □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>6 □ □ コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>7 □ □ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>8 □ □ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>9 □ □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>10 □ □ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>11 □ □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>12 □ □ スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>13 □ □ 有害なクラックが無い。</p> <p>14 □ □ その他 (理由:)</p> <p>□ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づき処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば……………c</p> <p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>								評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)	b やや優れている (該当項目が4項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)	d 劣っている (該当項目が2項目以下)																													
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価</p> <p>1 □ □ コンクリート構造物の表面状態が良い。</p> <p>2 □ □ コンクリート構造物の通りが良い。</p> <p>3 □ □ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</p> <p>4 □ □ クラックが無い。</p> <p>5 □ □ 漏水が無い。</p> <p>6 □ □ 全体的な美観が良い。</p>																																

別紙6 (6)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	土工事 (切土、盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 11 <input type="checkbox"/> 伐間除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>																																			
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ	盛土工事	a 優れている (該当項目が4項目以上)		b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)																													
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 2 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 3 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 4 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			
III. 出来ばえ	切土工事	a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																													
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 2 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 3 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 4 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 5 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 6 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

別紙6 (7)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ (汚染土壌処理)	土工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 雨水による土壌汚染が拡大しないように、作業手順及び排水対策等を適切に実施している。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 規定された剥き取り深度が確保されており、剥き取り面下を乱さないように施工している。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 剥き取り後の確認が適正であることが関係書類により確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 汚染土壌の運搬は適切であり、運搬管理も良好である。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生工・種子吹付等を適宜、適切に行っている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 伐採材、根、クレイ、ワッツ等の分別解体等及び再資源化等が適切に行われている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			
III. 出来ばえ		a	b	c	d																																
		優れている (該当項目が5項目以上)	やや優れている (該当項目が4項目)	他の評価に該当しない (該当項目が3項目)	劣っている (該当項目が2項目以下)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 表面部分の鉛、クレイ、ワッツ等の除去は良好である。 2 <input type="checkbox"/> 法面の浮土除去・木根等、表面が適切に施工されている。 3 <input type="checkbox"/> 剥き取り後の緑化復元が良好である。 4 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ(汚染土除去)の良さがうかがえる。 5 <input type="checkbox"/> 汚染土壌は適切に処理されている。 6 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。																																			

別紙6 (8)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 【共通】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基礎を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:) 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:) 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:) 【現場打込法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																																		
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>					●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
III. 出来ばえ		a	b	c	d																															
		優れている (該当項目が3項目以上)	やや優れている (該当項目が2項目)	他の評価に該当しない (該当項目が1項目)		劣っている (該当項目なし)																														
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 3 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																		

別紙6 (9)

工事名

【 検査職員 】

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事及び地盤改良工事	優れている		bより優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																										
	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 No 対象 評価 【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配筋、スベークの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てに当たり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																																	
		【地盤改良関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																																	
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合には、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																	
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>																																	
		●判断基準																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が3項目以上)		b やや優れている (該当項目が2項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が1項目)		d 劣っている (該当項目なし)																											
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 2 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 3 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 4 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 地盤改良はc評価とする。																																	

別紙6 (10)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検 査 職 員 】

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 【路床・路盤工関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:) 【アスファルト舗装工関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ブラント出荷時、現場到着時、舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:) 【コンクリート舗装工関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合は、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a	b	c	d																																
		優れている (該当項目が5項目以上)	やや優れている (該当項目が4項目)	他の評価に該当しない (該当項目が3項目)	劣っている (該当項目が2項目以下)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 2 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 3 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 4 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 5 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 6 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

別紙6 (11)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	擁壁工事等 (ブロック積)	優れている		bより優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
	II. 品質	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>□ 50%以下 □ 80%以下 □ 80%を超える</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙10参照。</p> <p>●評価対象項目 No 対象 評価</p> <p>1 □ □ 使用材料の品質証明書等により設計図書で規定した品質を満足していることが確認できる。 2 □ □ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量アルカリ骨材対策等)が確認できる。 3 □ □ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 4 □ □ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) 5 □ □ 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 6 □ □ 基礎部コンクリートと同様な養生条件におかれた供試体を用いて強度試験を行っている。 7 □ □ 施工基面が平滑に仕上げられている。 8 □ □ 施工基面の湧水処理が適切に実施されている。 9 □ □ ブロック部材の保管、運搬、吊り込み、据付けにあたり十分な注意を払っていることが確認できる。 10 □ □ ブロック部材の据付けにあたり、ブロックの配列、連結が適切であることが確認できる。 11 □ □ ブロック部材に損傷が認められない。 12 □ □ 裏込材や中詰石等が適切に施工されている。 13 □ □ 埋戻しにあたり締固めが適切であることが確認できる。 14 □ □ 端部や曲線部の処理が適切である。 15 □ □ その他 (理由:)</p> <p>□ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づき処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば……………c</p>						<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																												
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																													
		<p>●評価対象項目 No 評価</p> <p>1 □ □ 施設の通りが良い。 2 □ □ ブロック部材のかみ合わせが良い。 3 □ □ 基礎部コンクリート、ブロック部材にクラックがない。 4 □ □ 天端、端部の仕上げが良い。 5 □ □ 土工の構造物等のすりつけが良い。 6 □ □ 全体的な美観が良い。</p>																																			

別紙6 (12)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																												
3. 出来形及び出来ばえ	擁壁工事等 (鋼製枠)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼材の品質がミルシート等で確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎処理が設計図書に基づき所定の深さ及び形状で施工された。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼材の組み立て方法が施工計画書に記述され、吊り込み、据付、組み立て手順が適正であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 各部材のボルトの締め付け確認を行った記録がある。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中詰石がかみ合せも良く、枠の角から丁寧に空の無いよう適切に詰め込まれている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中詰石の上面は蓋スクリーンとの間に間隙ができないよう詰め込まれている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋め戻しは、鋼製枠に締め固め機械等が直接乗らないようし、設計図書に基づき適切に締め固めがされた。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																																		
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																		
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																		
		●判断基準																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	d 劣っている (該当項目が1項目以下)																															
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 鋼材の部材にキズ、錆がない。 3 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切で端部の施工も良好に仕上げられている。 4 <input type="checkbox"/> 表面の仕上げが良い。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																		

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

審査項目	工種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																									
3. 出来形及び出来ばえ	補強土壁工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきは別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明が整備されている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の管理・取扱が適切に行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 部材間の接合が適切に行われていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 盛土材料の土質が適正である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 盛土の締固めを適切な条件(人力機械別、巻出し厚、数均し、転圧作業等)で施工されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料により的確に確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 盛土の締固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																															
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																															
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																															
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	50%以下	80%以下	80%を超える																														
評価値	90%以上	a	a'	b																													
	75%以上90%未満	a'	b	b'																													
	60%以上75%未満	b	b'	c																													
	60%未満	b'	c	c																													
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	d 劣っている (該当項目が1項目以下)																												
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 壁面材(コンクリート製品)の割れ・カケがない。 2 <input type="checkbox"/> 基礎上面の平坦性がよい。 3 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等がよい。 4 <input type="checkbox"/> 壁面材の目違い、段差が少なく構造物の通りがよい。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。																															

別紙6 (14)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート二次製品工事 (側溝、集水樹等の小型構造物)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
	II. 品質	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>□ 50%以下 □ 80%以下 □ 80%を超える</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙10参照。</p> <p>●評価対象項目 No 対象 評価</p> <p>1 □ □ 使用材料の品質規格証明が整備されている。</p> <p>2 □ □ 施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>3 □ □ 集水樹等の埋設深さ管理が適切に施工されている。</p> <p>4 □ □ 側溝及び管路の接続が適切に施工されている。</p> <p>5 □ □ 溝底部が凹凸、蛇行のないよう施工されている。</p> <p>6 □ □ 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが特に入念に行われている。</p> <p>7 □ □ 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。</p> <p>8 □ □ 製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。</p> <p>9 □ □ 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。</p> <p>10 □ □ 施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている。</p> <p>11 □ □ 構造物にきめ細かな施工がうかがえる。</p> <p>12 □ □ 二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。</p> <p>13 □ □ その他(理由:)</p> <p>□ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づき処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば……………c</p>					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合には、一律C評価とする。</p> <p>③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。</p> <p>④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が6項目以上)		b やや優れている (該当項目が5項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目以上)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																												
		<p>●評価対象項目 No 評価</p> <p>1 □ 構造物の通りがよい。</p> <p>2 □ 材料の連結、かみ合わせがよい。</p> <p>3 □ 天端仕上げ、端部仕上げがよい。</p> <p>4 □ クラックがない。</p> <p>5 □ 漏水がない。</p> <p>6 □ 周辺地形と平滑に仕上げられている。</p> <p>7 □ 全体的な美観がよい。</p>																																		

別紙6 (15)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																							
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート二次製品工事 (L型擁壁、ボックスカルバート等の大型構造物)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																							
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明が整備されている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎部は必要地耐力を満足していることが確認でき、結果が整理されている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎部の湧水等、構造物への影響が懸念される現場状況を適切に改善している。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが特に入念に行われている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 底部が凹凸、蛇行のないよう施工されている。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 根入れが図面どおり実施されていることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:) <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば……………c																													
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																													
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>75%以上90%未満</th> <th>60%以上75%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満		a	a'	b	b		b	b'	c	c		b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																											
	90%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満																												
	a	a'	b	b																											
	b	b'	c	c																											
	b'	c	c	c																											
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が6項目以上)	b やや優れている (該当項目が5項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目以上)	d 劣っている (該当項目が2項目以下)																										
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 構造物の通りがよい。 2 <input type="checkbox"/> 材料の連結、かみ合わせがよい。 3 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げがよい。 4 <input type="checkbox"/> クラックがない。 5 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 6 <input type="checkbox"/> 周辺地形と平滑に仕上げられている。 7 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。																													

別紙6 (16)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
3. 出来形及び出来ばえ	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきは別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 材料の規格・品質がミルシート等で確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> ベイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となり、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 17 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)																																		
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。					●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
III. 出来ばえ	防護柵(網)工事	a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																												
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 3 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 4 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 5 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 6 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																		
III. 出来ばえ	標識工事	a 優れている (該当項目が4項目以上)		b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)																												
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 2 <input type="checkbox"/> 標識板の向きに角度及びその支柱の通りが良い。 3 <input type="checkbox"/> 標識板や支柱に変色がない。 4 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																		
III. 出来ばえ	区画線工事	a 優れている (該当項目が4項目以上)		b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)																												
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 2 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 3 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 4 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																		

別紙6 (17)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事 (開削)	優れている		bより優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																											
	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
●評価対象項目		No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> マンホールブロックは、内面が一致し垂直に据付けられていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> マンホールブロックの接合部が水密に仕上げられていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> マンホール・樹等の仕上がり天端高が適正である。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹の据付けは、垂直に、かつ水密に仕上げられていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎および側部の締固めは均等に実施されている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> インパードは形状、勾配等適正に施工されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 足掛金物が確実に設置されている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料は日本下水道協会検査証明等により品質規格が確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料が適正に保管管理されている。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 接合が管種に応じた適切な方法で行っていることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 湧水等は適切に処理を行い、布設作業に影響のないよう作業をおこなっている。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管基礎は管種・現場条件に応じ選定され、適切に施工されている。 14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管(函)路は、方向・勾配等が適切であり、不陸・偏心等のないことが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既存埋設物とは適切な離隔が確保されている。 16 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管の下端、側部の締固めが均等に実施されている。 17 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 付属構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 18 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																		
① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																		
●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																												
	●評価対象項目		No 評価 1 <input type="checkbox"/> 管(函)の通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 管(函)及びマンホールの内空面にクラック、傷がない。 3 <input type="checkbox"/> 管(函)及びマンホールの内空面の目地等仕上げが良い。 4 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 5 <input type="checkbox"/> マンホール天端と路面のすりつけがよい。 6 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。																																	

別紙6 (18)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事 (推進、シールド)	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている																													
	II. 品質	bより優れている		cより優れている		他の評価に該当しない		劣っている																													
<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験)</p> <p>□ 50%以下 □ 80%以下 □ 80%を超える</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙10参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 □ □ マンホールブロックは、内面が一致し垂直に据付けられていることが確認できる。</p> <p>2 □ □ マンホールブロックの接合部が水密に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>3 □ □ マンホール・樹等の仕上がり天端高が適正である。</p> <p>4 □ □ 樹の据付けは、垂直に、かつ水密に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>5 □ □ 基礎および側部の締固めは均等に実施されている。</p> <p>6 □ □ インパードは形状、勾配等適正に施工されている。</p> <p>7 □ □ 足掛金物が確実に設置されている。</p> <p>8 □ □ 使用材料の品質証明書等により設計図書で規定した品質を満足していることが確認できる。</p> <p>9 □ □ 溶接作業にあたり、作業員の技量試験をおこなっている。</p> <p>10 □ □ シールド推進機は、設計図書に規定した品質・規格を満足していることが確認できる。</p> <p>11 □ □ 推進力について管理を行い、予定以上の負荷をかけていないことが確認できる。</p> <p>12 □ □ 日々計測・管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</p> <p>13 □ □ セグメントや推進管が損傷しないよう配慮されていることが確認できる。</p> <p>14 □ □ 接合部が適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>15 □ □ 管(函)路は、法線・勾配等が確保されていることが確認できる。</p> <p>16 □ □ 裏込め材等の注入が適切に施工されていることが、記録から確認できる。</p> <p>17 □ □ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量が確認できる。</p> <p>18 □ □ 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて強度確認を行っている。</p> <p>19 □ □ 作泥注入が適切に施工されていることが記録から確認できる。</p> <p>20 □ □ 付属構造物にきめ細かな施工がうかがえる。</p> <p>21 □ □ その他(理由:)</p>		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。</p> <p>④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p>		<p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																													
<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価</p> <p>1 □ □ 管(函)の通りが良い。</p> <p>2 □ □ 管(函)及びマンホールの内空面にクラック、傷がない。</p> <p>3 □ □ 管(函)及びマンホールの内空面の目地等仕上げが良い。</p> <p>4 □ □ 漏水がない。</p> <p>5 □ □ マンホール天端と路面のすりつけがよい。</p> <p>6 □ □ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p>																																					

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事 (管渠、マンホール更生)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既設管渠の劣化状況に適合した工法である。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明が整備されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の規格が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。(厚、強度、粗度係数等) 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工前の清掃(木根除去等)が入念に実施されていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 更生材の搬入・保管は適切に行われている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理(温度、時間等)の記録を適宜実施している。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 更生管の品質確認試験は適切に行われ、規格値を満足している。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録(動画)等が整備されている。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a	b	c	d																																
		優れている (該当項目が5項目以上)	やや優れている (該当項目が4項目)	他の評価に該当しない (該当項目が3項目)	劣っている (該当項目が2項目以下)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 管(函)及びマンホールの内空面にシワ、たるみ、剥離がない。 2 <input type="checkbox"/> 管(函)及びマンホールの内空面にクラック、傷がない。 3 <input type="checkbox"/> 漏水、侵入水がない。 4 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりが良い。 5 <input type="checkbox"/> 管口仕上げが良い 6 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。																																			

別紙6 (20)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	上水道工事	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている																													
	II. 品質	bより優れている		cより優れている		他の評価に該当しない		劣っている																													
		<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>□ 50%以下 □ 80%以下 □ 80%を超える</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙10参照。</p> <p>●評価対象項目 No 対象 評価</p> <p>1 □ □ 使用材料は日本水道協会検査証明等により品質規格が確認できる。 2 □ □ 接合作業にあたり、作業員の資格確認を行っている。 3 □ □ 接合が管種に応じた適切な方法で行っていることが確認できる。 4 □ □ 使用材料が適正に保管管理されている。 5 □ □ 接合結果がチェックシート等で記録されている。 6 □ □ 既存埋設物とは適切な離隔が確保されている。 7 □ □ 施工基面が平滑に仕上げられている。 8 □ □ 湧水等は適切に処理を行い、布設作業に影響のないよう作業をおこなっている。 9 □ □ 管の下端、側部の締固めが均等に実施されている。 10 □ □ 管の切断・加工が適切に行われている。 11 □ □ 管防食シートは、堅固に取り付けられている。 12 □ □ 埋戻しにおいて、管などの下端、側部の締固めが均等に実施されている。 13 □ □ 付属構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 14 □ □ 水質、水圧試験を所定箇所で行い、規定値を満足している。 15 □ □ その他(理由:)</p> <p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合は、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small></p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																													
		<p>●評価対象項目 No 評価</p> <p>1 □ □ 配管作業環境は整えられ、接合作業スペースを確保し施工している。 2 □ □ 消火栓・弁室内の仕上げが良い。 3 □ □ 既存構造物等にも細心の注意が払われている。 4 □ □ 舗装面は平坦性や端部処理が良い。 5 □ □ 清掃・後片付けが丁寧である。 6 □ □ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p>																																			

別紙6 (21)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検 査 職 員 】

考 査 項 目	工 種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																									
3. 出来形及び出来ばえ	水管橋工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 【工場製作関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管材料は日本水道協会検査証明書、品質規格証明書が整備されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む。) 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真で確実に空であることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 特記仕様書等による品質管理が適正に行われている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 【架設関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチャッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水勾配がついている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 付属構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) ① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入 ●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	50%以下	80%以下	80%を超える																														
90%以上	a	a'	b	b																													
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
60%未満	b'	c	c	c																													
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)		b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)																									
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 2 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 3 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 4 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																															

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	鋼橋工事 (RC床板工事はコンクリート構造物に準ずる。) II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		●評価対象項目 No 対象 評価 【工場製作関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面に十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		【架設関係】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a	b	c	d																																
		優れている (該当項目が4項目以上)	やや優れている (該当項目が3項目)	他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	劣っている (該当項目が1項目以下)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 2 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 3 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 4 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

別紙6 (23)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋上部工事 (PC及びRRCを対象)	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている																												
	II. 品質	bより優れている		cより優れている		他の評価に該当しない		劣っている																												
		□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] □ 50%以下 □ 80%以下 □ 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。																												
		●評価対象項目 No 対象 評価 1 □ □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2 □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3 □ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 □ □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 5 □ □ コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 6 □ □ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 7 □ □ 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8 □ □ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 9 □ □ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 10 □ □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11 □ □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 □ □ スーパーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 13 □ □ プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14 □ □ 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 15 □ □ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16 □ □ プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 17 □ □ コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 18 □ □ 有害なクラックが無い。 19 □ □ その他(理由:)						□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。																												
		□ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づき処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば……………c																																		
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																		
		【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																		
		●判断基準																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c					
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																												
		●評価対象項目 No 評価 1 □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 2 □ コンクリート構造物の通りが良い。 3 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 4 □ 支承部の仕上げが良い。 5 □ クラックが無い。 6 □ 全体的な美観が良い。																																		

別紙6 (24)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	橋梁下部工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
	II. 品質	<p>●評価対象項目 No 対象 評価</p> <p>【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打・深礎等)】</p> 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てに当たり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		<p>【躯体(鉄筋コンクリート)】</p> 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後には型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づき処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば……………c																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。					<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p>																																			
III. 出来ばえ		a	b	c	d																																
		優れている (該当項目が5項目以上)	やや優れている (該当項目が4項目)	他の評価に該当しない (該当項目が3項目)	劣っている (該当項目が2項目以下)																																
		<p>●評価対象項目 No 評価</p> 1 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 2 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 3 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 4 <input type="checkbox"/> 構造物の表面状態が良い。 5 <input type="checkbox"/> パラペットを含め本体にクラックや損傷が無い(補修痕が無い)。 6 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																									
3. 出来形及び出来ばえ	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																															
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																															
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																															
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	50%以下	80%以下	80%を超える																														
評価値	90%以上	a	a'	b																													
	75%以上90%未満	a'	b	b'																													
	60%以上75%未満	b	b'	c																													
	60%未満	b'	c	c																													
III. 出来ばえ	(工場塗装を除く。)	a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	d 劣っている (該当項目が1項目以下)																												
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 2 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 3 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 4 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																															

別紙6 (26)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検 査 職 員 】

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ	トンネル工事	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている																											
	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																	
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合は、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																	
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																	
		●判断基準																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)		d 劣っている (該当項目が2項目以下)																											
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> クラックが無い。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																	

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	公園工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
	II. 品質	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状は設計図書等の仕様と合致しており、証明書等が整備されている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書等の仕様に対し適切であることが確認でき、証明書等が整備されている。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土工事は設計図書または施工計画に合致した施工であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自然材料の使用にあたっては、監督職員の確認を得たものを使用している。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹木は産地や規格が確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 遊戯施設等の設置は強固で安全性に問題がない。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 遊戯施設等の設置において、ボルト締め等適宜自主的な点検を実施している。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 遊戯施設等の配置においては、所定の安全領域を確保している。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 遊戯施設の対象年齢、利用方法等、利用者への必要な通知が見やすい場所に設置されている。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p> <p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small></p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
III. 出来ばえ		a	b	c	d																																
		優れている (該当項目が6項目以上)	やや優れている (該当項目が5項目)	他の評価に該当しない (該当項目が3項目以上)	劣っている (該当項目が2項目以下)																																
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 園路・広場はわだちや段差がなく仕上がりが良い。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 舗装の仕上がりが良い。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 施設構造物の肌、通り、納まり等仕上げの状態が良い。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 植栽は配置や向きに配慮がある。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 遊具等の作動が安全でかつ良好である。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 芝張りは適切に行われ、良好な活着が見込まれる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p>																																			

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																										
3. 出来形及び出来ばえ	植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹木の産地や規格が適正であることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工完了後、余刺枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
評価値	90%以上	a	a'	b																														
	75%以上90%未満	a'	b	b'																														
	60%以上75%未満	b	b'	c																														
	60%未満	b'	c	c																														
III. 出来ばえ		a	b	c	d																													
		優れている (該当項目が3項目以上)	やや優れている (該当項目が2項目)	他の評価に該当しない (該当項目が1項目)			劣っている (該当項目なし)																											
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 2 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 3 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																

別紙6 (29)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	グランド・コート舗装工事 (野球場・グラウンド・芝舗装・テニスコート等)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、CBR値測定、ブルフーリング等を行い、支持地盤(路床)の確認を行っている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基盤が平滑に仕上げられていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切で、保管状態が良い。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 混合土、床土の配合試験(土壌試験)が行われており、品質の規格(粒度、含水比、透水係数、硬度、土壌改良材等)が確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 各層(混合土等)の品質管理方法が明確で、品質確保に創意工夫が見られる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生(芝)の種類、品質、施工後の養生が適切である。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a	b	c	d																																
		優れている (該当項目が4項目以上)	やや優れている (該当項目が3項目)	他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	劣っている (該当項目が1項目以下)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 平坦性が良い。 2 <input type="checkbox"/> 表面処理が均一で良好である。 3 <input type="checkbox"/> 植生(芝)状況が均一で良好である。 4 <input type="checkbox"/> 内、外野および外周との取り合い(すりつけ)が良い。 5 <input type="checkbox"/> 外構施設へのすりつけが良い。																																			

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
3. 出来形及び出来ばえ	防球ネット工事・防砂ネット工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で、正確な施工方法が伺える。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適正であることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主柱および支柱の配置、根入、根柵位置、建柱角度等が適切に施工されていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主ワイヤーおよび補助ワイヤー等の設置(張具合、取付金具等)が適切に施工されていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ネットの張高、継目(重ね処理等)、張具合等が適切である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																		
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>																																		
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c																																
	60%未満	b'	c	c																																
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	d 劣っている (該当項目が1項目以下)																															
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 施設の通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 取付金具、端部処理にきめ細かさが見られる。 3 <input type="checkbox"/> ワイヤー、ネットの張り具合が均一でたるみがない。 4 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆等がない。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																		

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

審査項目	工種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	競技場改修工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
	II. 品質	●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕様書に定められている品質管理が実施されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 部品や二次製品の品質及び形状が設計図書と整合しており、適切であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土の締め固めや理め戻しを適切に行っている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植生工で植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装施工上の注意事項が守られている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接施工上の注意事項が守られている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理に創意工夫がある。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がうかがえる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	90%以上	50%以下	80%以下		80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	d 劣っている (該当項目が1項目以下)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 2 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 3 <input type="checkbox"/> 構造物等との取り合い、すり付けが良い。 4 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境等への配慮が良い。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	優れている		bより優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきは別紙10参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																															
		●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c						
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が3項目以上)		b やや優れている (該当項目が2項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が1項目)		d 劣っている (該当項目なし)																													
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 2 <input type="checkbox"/> フレキストコンクリートブロックの蓋に、かたつきや不要な隙間が生じていない。 3 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

別紙6 (33)

工事名 _____

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

考査項目	工 種	a 優れている (該当項目が6項目以上)	a' bより優れている (該当項目が5項目)	b やや優れている (該当項目が4項目)	b' cより優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目以下)	d やや劣っている	e 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 6 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 7 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 8 <input type="checkbox"/> 理由: _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	II. 品質	① 請負金額に関わらず「1～4」を必須の評価対象項目とする。 ② 評価対象項目は最大8項目とする。 ③ 評価項目を追加する場合は「5～8」で行い、理由を必ず明記すること。						
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が3項目以上)	b やや優れている (該当項目が2項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が1項目)	d 劣っている (該当項目なし)			
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 2 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 3 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。						

別紙6 (34)

工事名 _____

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

考査項目	工 種	a 優れている (該当項目が6項目以上)	a' bより優れている (該当項目が5項目)	b やや優れている (該当項目が4項目)	b' cより優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目以下)	d やや劣っている	e 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 6 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 7 <input type="checkbox"/> 理由: _____ 8 <input type="checkbox"/> 理由: _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	II. 品質	① 請負金額に関わらず「1～4」を必須の評価対象項目とする。 ② 評価対象項目は最大8項目とする。 ③ 評価項目を追加する場合は「5～8」で行い、理由を必ず明記すること。						
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が3項目以上)	b やや優れている (該当項目が2項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が1項目)	d 劣っている (該当項目なし)			
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 2 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 3 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。						

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																															
3. 出来形及び出来ばえ	鋼橋補修工事 (炭素繊維シート工法)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
	II. 品質	●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で、正確な施工方法が伺える。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適正であることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ひび割れ補修(注入等)が適正におこなわれている事が確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 下地処理が適正に行われていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工法の手順通り、各段階の施工が適正に行われている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階において、監督員の立会いが実施されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 接着剤等の空缶管理が、写真で確実に空であることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																					
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合は、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																					
		【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																					
		●判断基準																																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																					
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)		b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)																															
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 表面処理が均一でずれが無い。 2 <input type="checkbox"/> シートの接着状況が適切で大きな浮きやふくれがない。 3 <input type="checkbox"/> 隅角部仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さがうかがえる。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																					

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 裏込材及び馴染めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料の組み合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及び組み合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 15 <input type="checkbox"/> その他(理由:) <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づき処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば.....c																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)		b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	d 劣っている (該当項目が1項目以下)																														
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 材料の組み合わせがよく、クラックが無い。 3 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 4 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

別紙6 (37)

工事名

〔記入方法〕1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	地すべり防止工事 (抑止杭、集水井工事を含む。)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつき判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 抑止杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 抑止杭の打ち止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法が整備されかつ記録が確認できる。 15 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 抑止杭の偏心管理が確認できる。 16 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書等に定められた事項が確認できる。 17 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄線かご工等の詰りがすき間の無いよう実施されていることが確認できる。 18 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づき処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば……………c																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が3項目以上)	b やや優れている (該当項目が2項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が1項目)		d 劣っている (該当項目なし)																															
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 2 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 3 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

別紙6 (38)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検 査 職 員 】

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	地すべり防止工事 (抑止アンカー工事、暗渠排水工事、集水ボーリング)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 【共通】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		【抑止アンカー工事(グランドアンカー、ロックボルト)】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカー施工長さが全本数確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカー施工角度が適正であることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 削孔内のスライム処理が適切に行われていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 注入材の充填が適切であり、引張力試験値からも確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 頭部処理(定着金具、キャップへの防錆グリスの充填、防水処理等)が適切に行われていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書や本工法に関する設計、施工指針に基づき、定められた施工手順により行われていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカー材や注入原材料の保管管理が適正であることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 受圧板が適正に施工されていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		【暗渠排水工事】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 基礎部が凸凹蛇行のないように施工されている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地盤面に不陸が生じていないことが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 暗渠管の接続が適切に施工されていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 栗石が均一に詰め込まれていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋め戻しは締め固め地山のすり付けに配慮し施工されている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		【集水ボーリング】 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボーリングの掘削位置、配列、方向、仰角、深度等は設計図書に基づき適正に施工された。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボーリング孔からの排水処理は適切に行われており、再浸透が防止されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削機械に応じた適切な足場が設置されたことが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボーリングの孔口は施工に先立ち法面を整備し土砂崩壊が起きないように施工された。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 保孔管のストレーナー加工は設計図書に基づき適正に施工されたことが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 検尺の記録がある。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※ 別紙10を参照上記該当あれば.....c																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が3項目以上)	b やや優れている (該当項目が2項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が1項目)	d 劣っている (該当項目なし)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 2 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 3 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
3. 出来形及び出来ばえ	落石防止工事 (落石防止ネット、落石防止柵) II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の規格がミルシート等で確認できる。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ボルトや連結金具の締付が適切に施行されている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンカーや網の重ね合わせが設計書どおり施行されている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ワイヤーが適切に緊張されている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 端部の処理が適切に行われている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																		
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																		
		●判断基準																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
III. 出来ばえ		a	b	c	d																															
		優れている (該当項目が3項目以上)	やや優れている (該当項目が2項目)	他の評価に該当しない (該当項目が1項目)	劣っている (該当項目なし)																															
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 2 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 3 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																		

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検 査 職 員 】

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
3. 出来形及び出来ばえ	軽量盛土工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に、又段切りが行われていることなど、施工上の必要な基面措置がなされている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の積重ね、緊結、締固め等が適切であり、施工に細かい配慮が伺える。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工中の雨水対策(降雨、流水等)が適切に行われていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 透水シート、暗渠排水等の付帯施設が適切に施工され、地山等との取り合いが良いことが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 軽量材自面の壁面保護工等、本工法に係る付帯施設が適切に施工されていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																		
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																		
		【比率計算】 評価値 % = 評価数 項目 ÷ 対象項目数 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>																																		
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		
III. 出来ばえ		a	b	c	d																															
		優れている (該当項目が3項目以上)	やや優れている (該当項目が2項目)	他の評価に該当しない (該当項目が1項目)	劣っている (該当項目なし)																															
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 3 <input type="checkbox"/> 構造物等へのすりつけが良い。 4 <input type="checkbox"/> 全体的に美観が良い。																																		

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	さく井工事	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている																													
	II. 品質	bより優れている		cより優れている		他の評価に該当しない		劣っている																													
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事に先立ち地下水に対する地盤調査等の分析が入念になされている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削記録及び電気検層結果等が適切に管理されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 揚水試験が仕様書どおり適切に実施されている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 孔内の仕上げが仕様書どおり適切に実施されている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 掘削中の孔壁保護が入念に施工されている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> フィルター材、埋め戻し等が入念に施工されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケーシング等挿入、接合作業等が適切に実施されている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c						
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			
III. 出来ばえ		a		b		c		d																													
		優れている (該当項目が3項目以上)		やや優れている (該当項目が2項目)		他の評価に該当しない (該当項目が1項目)		劣っている (該当項目なし)																													
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 孔口の保護が適切になされている。 2 <input type="checkbox"/> 掘削スライム、泥水等の処理が適切になされている。 3 <input type="checkbox"/> ケーシング、スクリーン等が適正に施工されている。 4 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検 査 職 員 】

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																												
3. 出来形及び出来ばえ	木柵工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有害な割れ傷等がない。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 継ぎ手部の処理が適切である。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防腐剤処理や材料の寸法等が証明書等で確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭と横木の取り付けが適切である。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 根入れ部の処理が適切である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																		
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																		
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)	d 劣っている (該当項目が2項目以下)																													
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 木柵の通りがよい。 2 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い。 3 <input type="checkbox"/> 天端、端部の処理が良い。 4 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 5 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 6 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																		

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	浚渫・河道掘削工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ証明書が整備されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 浚渫、掘削工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないよう工夫していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 水質汚染対策を配慮した施工を行っている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 雨水による土壌汚染が拡大しないように、作業手順及び排水対策等を適切に実施している。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 規定された掘削深度が確保されており、掘削面下を乱さないように施工している。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土壌の運搬が適切であり、運搬管理も良好である。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 伐木、除根等の適正な運搬、積卸、処分を行っている。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法面に有害な損傷部が無い。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 廃棄物、投棄物等の処理を適切に行っている。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 付属工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合は、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)																														
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 3 <input type="checkbox"/> 汚染土壌は適切に処理されている。 4 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																										
3. 出来形及び出来ばえ	仮設工事 (親杭横矢板、覆工板)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
	II. 品質	<p>●評価対象項目</p> No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の規格・品質がミルシートで確認できる。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仮設材にそり、ゆがみ、傷がない。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仮設材の組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 周辺環境(騒音・振動・地盤変動等)に配慮した施工方法で実施している。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) <p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>								評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)		b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)																										
		<p>●評価対象項目</p> No 評価 1 <input type="checkbox"/> 鋼矢板・親杭の通りがよい。 2 <input type="checkbox"/> 覆工板にガタツキがない。 3 <input type="checkbox"/> 鋼矢板のかみ合わせ等不良部分がない。 4 <input type="checkbox"/> 床付け面の仕上げがよい。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい																																

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	仮設橋工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕様書に定められている品質管理が実施されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 杭の根入が適切である。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 部材の接合が適切である。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理及び記録の整理に創意工夫がある。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 足場設備の設置は、関係法令及び設計図書に基づき施工されている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がうかがえる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>50%以下</th> <th>80%を超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	50%以下	80%を超え	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	90%以上	50%以下	80%を超え																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	d 劣っている (該当項目が1項目以下)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 仕上がりが良い。 2 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 3 <input type="checkbox"/> すり付けや端部処理が良好である。 4 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																																	
3. 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事 (整地工等)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																	
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地区内の地表水及び地下水を排除しドライの状態ですりしている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 濁り等の防止に十分留意して施工している。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 石礫、根株等の除去は仕様書に定められたとおり実施されている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 表土剥ぎ取り、基盤切盛、畦畔築立、基盤整地、表土整地は、仕様書及び設計図書により施工されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 進入路について耕作に支障がないように施工されている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 暗渠排水工は仕様書及び設計図書により施工されている。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 用・排水路の縦断勾配等については、ほ場面標高等を考慮して施工されている。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられている。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 用・排水路の法面のとおりがよい。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物側面の埋め戻しについては、仕様書で示す条件により締め固めが実施されている。 13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 護岸等の根入れが図面どおり実施されていることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 15 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、据え付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																							
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																							
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	a	a'	b	b	90%以上	a'	b	b'	b'	75%以上90%未満	b	b'	c	c	60%以上75%未満	b'	c	c	c	60%未満						
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																					
	50%以下	80%以下	80%を超える																																						
評価値	a	a'	b	b																																					
90%以上	a'	b	b'	b'																																					
75%以上90%未満	b	b'	c	c																																					
60%以上75%未満	b'	c	c	c																																					
60%未満																																									
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が6項目以上)		b やや優れている (該当項目が5項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目以上)	d 劣っている (該当項目が2項目以下)																																		
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 均平度がよい。 2 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 3 <input type="checkbox"/> 土工のとおりが良い。 4 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等のすりつけがよい。 5 <input type="checkbox"/> 用・排水路のとおりがよい。 6 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物のとおりがよい。 7 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。																																							

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																													
3. 出来形及び出来ばえ	現場整備工事 (暗渠排水工)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつき判断は別紙10参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 No 対象 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料は現場状況に適合しており、品質規格証明が整備されている。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管路の敷設位置が適切である。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 管路の接続が適正に施工されている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋設深さや位置の管理が適切に実施されている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 軟弱地盤等で暗渠排水工の効果が阻害されるおそれがある箇所について、阻害防止の工夫が措置されている。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 被覆材が管路を中心に適切に施工されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 暗渠管の据付基盤に凹凸蛇行がないよう施工されている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 暗渠管の接続が適切に施工されていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 石材が均一に詰め込まれていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 吸出し防止材が適切に施工されていることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋め戻しは、締固めや地山のすり付けに配慮して入念に施工されている。 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)																																			
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。																																			
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)	d 劣っている (該当項目が1項目以下)																																
		●評価対象項目 No 評価 1 <input type="checkbox"/> 暗渠排水管の通りが良い。 2 <input type="checkbox"/> 田面復旧の状態が良い。 3 <input type="checkbox"/> 畦畔及び排水路溝畔復旧の状態が良い。 4 <input type="checkbox"/> 排水路の接続にきめ細かな施工がなされている。 5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。																																			

別紙6 (48)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

審査項目	工 種	a 優れている (評価値が90%以上)	a' bより優れている (評価値が80%以上90%未満)	b やや優れている (評価値が70%以上80%未満)	b' cより優れている (評価値が60%以上70%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が60%未満)	d やや劣っている	e 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
	<p>II. 品質</p>							
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。</p> <p>④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>						
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)	b やや優れている (該当項目が3項目)	c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)		
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p>						

別紙6 (49)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

審査項目	工種	a 優れている (評価値が90%以上)	a' bより優れている (評価値が80%以上90%未満)	b やや優れている (評価値が70%以上80%未満)	b' cより優れている (評価値が60%以上70%未満)	c 他の評価に該当しない (評価値が60%未満)	d やや劣っている	e 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合は、一律C評価とする。</p> <p>③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。</p> <p>④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small></p>						
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)	d 劣っている (該当項目が2項目以下)	
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p>						

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

審査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	通信設備工事・受変電設備工事	優れている (評価値が90%以上)	bより優れている (評価値が80%以上90%未満)	やや優れている (評価値が70%以上80%未満)	cより優れている (評価値が60%以上70%未満)	他の評価に該当しない (評価値が60%未満)	やや劣っている	劣っている
	II. 品質	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p> <p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合は、一律C評価とする。 ③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。 ④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small></p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が5項目以上)		b やや優れている (該当項目が4項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が3項目)	d 劣っている (該当項目が2項目以下)	
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p>						

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工 種	(A)	a	a'	b	b'	c	d	e																										
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																										
3. 出来形及び出来ばえ	上記以外の工事	(B)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%以下 <input type="checkbox"/> 80%を超える ※ ばらつきの判断は別紙10参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
	II. 品質	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p>																																	
		<p>●判断基準</p> <p><A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</p> <p>a 評価値が90%以上</p> <p>a' 評価値が80%以上90%未満</p> <p>b 評価値が70%以上80%未満</p> <p>b' 評価値が60%以上70%未満</p> <p>c 評価値が60%未満</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が4項目以下の場合はC評価とする。</p> <p> 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</p> <p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が4項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>③ 工事内容と照合し、対象とならない項目は削除する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c				
評価値	ばらつきで判断可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c																																
60%未満	b'	c	c																																
III. 出来ばえ		a 優れている (該当項目が4項目以上)		b やや優れている (該当項目が3項目)		c 他の評価に該当しない (該当項目が2項目)		d 劣っている (該当項目が1項目以下)																											
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p style="text-align: center;">※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。</p>																																	

別紙 7 工事成績採点の考査項目別運用表

建築・設備工事

監督員

【監督員】

考查項目	細 別	工 種	シート
1. 施工体制	I. 施工体制一般		1
	II. 配置技術者		
2. 施工状況	I. 施工管理		2
	II. 工程管理		
	III. 安全対策		3
	IV. 対外関係		
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形		4
	II. 品質	建築工事	5
		電気設備工事、機械設備工事	
		解体工事	
5. 創意工夫	I. 創意工夫		6

別紙7 (1)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名

【監督員】

審査項目	細別	a 優れている (評価値が90%以上)	b 良好である (評価値が80%以上90%未満)	c 適切である (評価値が60%以上80%未満)	d やや不適切である (評価値が60%未満)	e 不適切である	
1. 施工体制	1. 施工体制一般	●評価対象項目 No 対象評価					
	500万円未満	1 <input type="checkbox"/> 作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。 2 <input type="checkbox"/> 品質管理体制が、書面にて適切に記載されている。 3 <input type="checkbox"/> 安全管理体制が、書面にて適切に記載されている。 4 <input type="checkbox"/> 現場の施工体制(品質管理、安全管理体制を含む)が、書面と一致している。 5 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 6 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等に適切に把握されている。 7 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。				<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円以上 ※全項目対象	8 <input type="checkbox"/> 元請業者が下請業者の施工結果を十分に検査している。 9 <input type="checkbox"/> 現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。 10 <input type="checkbox"/> 工事カルデの登録は、監督職員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。 11 <input type="checkbox"/> 建築、機械電気設備について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整備している。 12 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 13 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)					
① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 最終請負金額500万円未満は「1～7」、500万円以上は「1～12」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「8～12」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ③ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入							
II. 配置技術者 (現場代理人等)		●評価対象項目 No 対象評価					
	500万円未満	1 <input type="checkbox"/> 現場代理人は、工事全体の把握ができています。 2 <input type="checkbox"/> 現場代理人は、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。 3 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。 4 <input type="checkbox"/> 工事請負契約書第19条(条件変更等)第1項(以下、「契約書第19条」という。)に基づく設計図書の照査を行っている。 5 <input type="checkbox"/> 書類及び資料が適切に整理されている。 6 <input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。				<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円以上 ※全項目対象	7 <input type="checkbox"/> 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。 8 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。 9 <input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。 10 <input type="checkbox"/> 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等を適正に指導している。 11 <input type="checkbox"/> 施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。 12 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 13 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)					
① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 最終請負金額500万円未満は「1～6」、500万円以上は「1～12」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「7～12」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ③ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入							

別紙7 (2)

〔記入方法〕1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】 _____

審査項目	細別	a 優れている (評価値が90%以上)	b 良好である (評価値が80%以上90%未満)	c 適切である (評価値が60%以上80%未満)	d やや不適切である (評価値が60%未満)	e 不適切である	
2. 施工状況	Ⅰ. 施工管理	●評価対象項目 No 対象評価				□ 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	□ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円以上 ※全項目対象	500万円未満	1 □ □ 契約書第19条に基づく設計図書の照査について、協議を行っている。 2 □ □ 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 3 □ □ 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容になっている。 4 □ □ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。 5 □ □ 施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。 6 □ □ 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。 7 □ □ 工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。 8 □ □ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 9 □ □ 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。 10 □ □ 現場内で整理整頓が、日常的に行われている。 11 □ □ 使用する建築材料・設備機材調達計画及び搬入後の管理が適切である。 12 □ □ 社内検査が計画的に行われている。 13 □ □ 独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。 14 □ □ 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 15 □ □ 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが適切に行われている。 16 □ □ 段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。 17 □ □ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 18 □ □ その他 (理由: _____)				
	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 最終請負金額500万円未満は「1～16」、500万円以上は「1～17」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「17」に該当項目があれば加算評価に限り評価可とする。 ③ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入						
500万円以上 ※全項目対象	Ⅱ. 工程管理	●評価対象項目 No 対象評価				□ 工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	□ 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円以上 ※全項目対象	500万円未満	1 □ □ 実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 2 □ □ 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に管理把握している。 3 □ □ 請負者の責による夜間や休日の作業がない。 4 □ □ 休日・代休の確保を行っている。 5 □ □ 工程のフォローアップを実施し、請負者の責により関連工事及び入居官署等に対し、影響を及ぼす遅れが無い。 6 □ □ 現場または施工条件の変更への対応が積極的処理が早い。 7 □ □ 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 8 □ □ 近隣住民(入居官署等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。 9 □ □ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 10 □ □ その他 (理由: _____)				
	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 最終請負金額500万円未満は「1～4」、500万円以上は「1～9」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「5～9」に該当項目があれば加算評価に限り評価可とする。 ③ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入						

別紙7 (3)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名

【監督員】

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	III. 安全対策	優れている (評価値が90%以上)	良好である (評価値が80%以上90%未満)	適切である (評価値が60%以上80%未満)	やや不適切である (評価値が60%未満)	不適切である	
		●評価対象項目 No 対象評価				□ 安全対策に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	□ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円未満	1 □ □ 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。 2 □ □ 安全教育・安全訓練等を4時間/月以上実施し、記録が整備されている。 3 □ □ 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。 4 □ □ 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。 5 □ □ 現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。 6 □ □ 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 7 □ □ 過積載防止に取り組んでいる。					
	500万円以上 ※全項目対象	8 □ □ 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 9 □ □ 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示をしている。 10 □ □ 仮設工事(足場・支保を使用する工事)において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 11 □ □ 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 12 □ □ 使用機械、工具等の点検整備がなされ、十分に管理されている。 13 □ □ 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。 14 □ □ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 15 □ □ その他 (理由:)					
	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 最終請負金額500万円未満は「1~7」、500万円以上は「1~14」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「8~14」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ③ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>						
IV. 対外関係		優れている (評価値が90%以上)	良好である (評価値が80%以上90%未満)	適切である (評価値が60%以上80%未満)	やや不適切である (評価値が60%未満)	不適切である	
		●評価対象項目 No 対象評価				□ 対外関係に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	□ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	500万円未満	1 □ □ 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生が無い。 2 □ □ 工事施工にあたり、近隣住民(関係各課等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。 3 □ □ 引渡し時に関係各課等に対し、保守管理について適切な説明を行っている。 4 □ □ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 5 □ □ 近隣住民(関係各課等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後トラブルがない。 6 □ □ 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。					
	500万円以上 ※全項目対象	7 □ □ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 8 □ □ その他 (理由:)					
	① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 最終請負金額500万円未満は「1~6」、500万円以上は「1~7」を評価対象項目とし、500万円未満の工事でも「7」に該当項目があれば加点評価に限り評価可とする。 ③ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>						

別紙7 (4)

工事名 _____

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【監督員】

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来 ばえ		優れている (評価値が90%以上)	良好である (評価値が80%以上90%未満)	適切である (評価値が60%以上80%未満)	やや不適切である (評価値が60%未満)	不適切である
1. 出来形		<p>●評価対象項目</p> <p>No対象評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 承認図等が、設計図書を満足している。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足している。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録(写真記録含)が適切に整理されており、形状・寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内にあり、満足している。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法を工夫している。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来形に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条に基づき監督職員が改造請求を行った。</p>
<p>① 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事的物の形状、寸法、位置、数量並び管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 請負金額に関わらず「1~8」を必須の評価対象項目とする。</p> <p>④ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。</p>						
<p>【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>						

別紙7 (5)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【監督員】

考査項目	工 種	a 優れている (評価値が90%以上)	b 良好である (評価値が80%以上90%未満)	c 適切である (評価値が60%以上80%未満)	d やや不適切である (評価値が60%未満)	e 不適切である		
3. 出来形及び出来 ばえ II. 品質	建築工事	●評価対象項目 No 対象評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が適切である。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の品質が適切である。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が良好である。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内外装仕上げ工事における施工品質が良好である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確保のための工事写真、施工記録等が整備されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条に基づき監督職員が改造請求を行った。
		① 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 請負金額に関わらず「1～6」を必須の評価対象項目とする。 ④ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除してもよい。 ⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>						
電気設備工事 機械設備工事	電気設備工事 機械設備工事	●評価対象項目 No 対象評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が適切である。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確保記録の内容が、適切である。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材及び施工の品質が良好である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを定期的に行っている。 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条に基づき監督職員が改造請求を行った。
		① 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事も含まれる。 ② 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ③ 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ④ 請負金額に関わらず「1～7」を必須の評価対象項目とする。 ⑤ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除してもよい。 ⑥ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>						
解体工事	解体工事	●評価対象項目 No 対象評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体作業の計画が適切である。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体作業の進捗が適切である。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体作業の安全が確保されている。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体作業の環境対策が適切である。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体作業の記録が適切である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条に基づき監督職員が改造請求を行った。
		① 解体工事とは、建築物の解体工事、構造物の解体工事、機械器具の解体工事等を含む。 ② 品質の対象は、「解体作業の計画、進捗、安全、環境対策、記録」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ③ 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ④ 請負金額に関わらず「1～6」を必須の評価対象項目とする。 ⑤ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除してもよい。 ⑥ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。 【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>						

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	細 別	工 夫 事 項
5. 創意工夫	1. 創意工夫	<p>【準備・後片付け】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫 2 <input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫 3 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____</p> <p>【施工】</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 5 <input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み 6 <input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 7 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 8 <input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線、配管等の工夫 9 <input type="checkbox"/> 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫 10 <input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫 11 <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫 12 <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫 13 <input type="checkbox"/> 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫 14 <input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫 15 <input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫 16 <input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫 17 <input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫 18 <input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 19 <input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 20 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____</p> <p>【品質】</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫 22 <input type="checkbox"/> 躯体工事の品質管理の工夫 23 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 24 <input type="checkbox"/> 施工の検査・試験に関する工夫 25 <input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫 26 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____</p> <p>【安全衛生】</p> <p>27 <input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立ち入り禁止柵、手摺り、足場等) 28 <input type="checkbox"/> 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 29 <input type="checkbox"/> 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫 30 <input type="checkbox"/> 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 31 <input type="checkbox"/> 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 32 <input type="checkbox"/> 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 33 <input type="checkbox"/> 作業時における作業環境改善等の工夫 34 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 35 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____</p> <p>【施工管理関係】</p> <p>36 <input type="checkbox"/> 出来形の管理等に関する工夫 37 <input type="checkbox"/> 施工計画書または写真記録等に関する工夫 38 <input type="checkbox"/> 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 39 <input type="checkbox"/> CAD、施工管理ソフト等の活用 40 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____</p> <p>【その他】</p> <p>41 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____ 42 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____</p>
	<p>記述評価 (「レ」マークを付した評価内容を詳細記述)</p> <p style="text-align: center;">評 点 : 点</p>	<p>【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>① 評価は原則、受注者から様式による提出があったものを対象とする。 ② 加点は1項目1点とし、最大7点とする。 ③ 主任監督員「工事特性」との二重評価はしない。 ④ 加点評価をした場合は、その詳細・具体的内容について記述する。 ⑤ その他評価項目の追加は、請負金額に関わらず可とし、理由を必ず明記する。</p>		

別紙 8 工事成績採点の考査項目別運用表

建築・設備工事

主任監督員

【主任監督員】

考查項目	細 別	工 種	シート
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理		1
	Ⅲ. 安全対策		
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		2
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		3
9. 法令遵守等			4

別紙8 (1)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【主任監督員】 _____

審査項目	細別	a 優れている (該当項目が3項目以上)	b 良好である (該当項目が2項目)	c 適切である (該当項目が1項目以下)	d やや不適切である	e 不適切である										
2. 施工状況	II. 工程管理	●評価対象項目 No評価 1 <input type="checkbox"/> 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 2 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事との工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 3 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関等との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 4 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 5 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 6 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 7 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。										
		① 請負金額に関わらず、当該工事の施工内容に該当する評価対象項目を選択し、その個数により評価する。 ② その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。														
	III. 安全対策	a 優れている (該当項目が3項目以上)			b 良好である (該当項目が2項目)			c 適切である (該当項目が1項目以下)			d やや不適切である			e 不適切である		
		●評価対象項目 No評価 1 <input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 2 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 3 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 4 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 5 <input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 6 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 7 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。								
			① 請負金額に関わらず、当該工事の施工内容に該当する評価対象項目を選択し、その個数により評価する。 ② その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。													

別紙8 (2)

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名

主任監督員

審査項目	細別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	1. 施工条件等への対応	<p>I 建物規模への対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 延べ面積 10,000㎡以上の建物(対象改修床面積も含む)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 地上9階以上又は、建物高さ31m以上の建物</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 大空間ホール等を有する建物</p> <p>4 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p> <p>II 建物固有の機能の難しさへの対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 対象建物の耐震レベル</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 建物機能の特殊性</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p> <p>III 建物固有の施工技術の難しさへの対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特性</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p> <p>IV 厳しい周辺環境、社会条件との対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 地中埋設物等の作業障害</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・空港施設等・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁に特に配慮する工事</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等に特に配慮する工事</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業</p> <p>18 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p> <p>V 厳しい自然・地盤条件への対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の影響</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の自然条件の影響が大きな工事</p> <p>22 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p> <p>VI 施工現場での対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とし、最大10点とする。</p> <p>【長期工事における安全確保への対応】</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く)</p> <p>【災害等での臨機の措置】</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事</p> <p>【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく施工の制限を受けた工事</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事</p> <p>27 <input type="checkbox"/> 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事(居ながら工事)</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事</p> <p>29 <input type="checkbox"/> 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事</p> <p>30 <input type="checkbox"/> 特殊な室などで、工種が複雑し困難な調整を要する工事</p> <p>31 <input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事</p> <p>32 <input type="checkbox"/> 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事</p> <p>33 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p>	<p>・ その他、建物規模において特に評価すべき事項が認められる工事</p> <p>・ 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において I類及びA類に属する工事</p> <p>・ 電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</p> <p>・ 研究施設、美術館等、特殊機能・設備のある建物</p> <p>・ その他、建物固有の機能の難しさへの対応が特に必要な工事</p> <p>・ 特殊な工法及び材料等を採用した工事 (プレストレス導入等)</p> <p>・ 特殊な設備システムを採用した工事</p> <p>・ 免震装置を設ける工事</p> <p>・ 大規模な山留め工法が必要な工事</p> <p>・ 敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行う工事</p> <p>・ 仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事</p> <p>・ その他、建物固有の施工技術の難しさへの対応が特に必要な工事</p> <p>・ 工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃ガス等の対策が必要な工事</p> <p>・ 工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事</p> <p>・ 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事</p> <p>・ 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事</p> <p>・ 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事</p> <p>・ 市街地での夜間工事</p> <p>・ 住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事</p> <p>・ 場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事</p> <p>・ 有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事</p> <p>・ 供用中の道路(概ね日交通量1万台以上=国道、市内幹線道路(市街化区域内))で片側交互通行の交通規制をした工事</p> <p>・ 工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事</p> <p>・ その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事</p> <p>・ 大規模な地下工事等において地下水が高く、ウェルポイント工法などによる排水設備や大規模な山留めなどが必要な工事</p> <p>・ 液状化対策工法や地盤改良を伴う工事</p> <p>・ 冬季施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬季の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事</p> <p>・ その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事</p> <p>・ その他、長期工事における安全確保において特に対応が必要な工事</p> <p>・ その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事</p> <p>・ その他、施工状況(条件)に対応した施工・工法等のうち特に評価すべき事項が認められる工事</p>
		<p>I (1~4) II (5~7) III (8~11) IV (12~18) V (19~22) VI (23~33) 評定点</p> <p> 点 + 点 + 点 + 点 + 点 + 点 = 点</p>	<p>【工事特性の詳細評価】具体的内容を記載</p>
		<p>① 工事特性は、最大20点の加点評価とする。</p> <p>② 工事特性とは、当該工事特有の難度の高い条件に対して適切に対応したことを評価する項目である。該当工事であっても、対応が不適切と判断される場合は評価しないこと。</p> <p>③ 工事特性の評価を行った際は、監督員等の意見を聞き、評価の根拠となる詳細な工事特性を記述すること。</p> <p>④ 工事特性では、「創意工夫」との重複評価は行わないこと。「工事特性」・「創意工夫」のどちらでも評価可能な場合は、監督員と主任監督員で協議しどちらか一方で評定を行うこと。</p>	

別紙8 (3)

工事名 _____

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【主任監督員】

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	1. 地域への貢献等	優れている (該当項目が4項目以上)	やや優れている (該当項目が3項目)	良好である (該当項目が2項目)	やや良好である (該当項目が1項目)	他の評価に該当しない (該当項目なし)
<p>●評価対象項目</p> <p>No評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 道路清掃などを定期的に実施し、地域に貢献した。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加するなど、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p>						
<p>① 請負金額に関わらず、当該工事の施工内容に該当する評価対象項目を選択し、その個数により評価する。</p> <p>② その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p>						

別紙 9 工事成績採点の考査項目別運用表

建築・設備工事

検査職員

【検査職員】

考查項目	細 別	工 種	細 目	シート
2. 施工状況	I. 施工管理			1
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形			2
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 III. 出来ばえ	建築工事		3
〃	〃	電気設備工事、機械設備工事		4
〃	〃	解体工事		5

別紙9 (1)

(記入方法)1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工事名 _____

【 検査職員 】

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	1. 施工管理	優れている (評価値が90%以上)	良好である (評価値が80%以上90%未満)	適切である (評価値が60%以上80%未満)	やや不適切である (評価値が60%未満)	不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 契約書第19条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査結果を適切に処理していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 工事記録の整理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 一工程の施工の報告が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取組が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分行われていることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料整理がよい</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、検査職員からの文書による改善指示を行った。</p>
		<p>① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>② 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除してもよい。</p> <p>③ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 _____ % = 評価数 _____ 項目 ÷ 対象項目数 _____ 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>				

別紙9 (2)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a 特に優れている (評価値が90%以上)	a' 優れている (評価値が80%以上90%未満)	b 特に良好である (評価値が70%以上80%未満)	b' 良好である (評価値が60%以上70%未満)	c 適切である (評価値が50%以上60%未満)	d やや不適切である (評価値が40%未満)	e 不適切である
3. 出来形及び出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理が、工夫されていることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)</p>					<input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形が不適切であったため、工事請負契約書第32条に基づく修補指示を検査職員が行った。
I. 出来形		<p>① 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並び管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100</p> <p>※小数第2位四捨五入</p>						

別紙9 (3)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	建築工事	特に優れている (評価値が90%以上)	優れている (評価値が80%以上90%未満)	特に良好である (評価値が70%以上80%未満)	良好である (評価値が60%以上70%未満)	適切である (評価値が50%以上60%未満)	やや不適切である (評価値が50%未満)	不適切である		
	II. 品質	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、施工記録により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内外装仕上げ工事における施工の品質が、施工記録により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他の工事(躯体・内外装仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>					<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、工事請負契約書第32条に基づく修補指示を検査職員が行った。		
		<p>① 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>④ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p>								
III. 出来ばえ		a	b	c	d					
		優れている (評価値が90%以上)	良好である (評価値が80%以上90%未満)	適切である (評価値が80%未満)	劣っている					
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされ、取合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕上りの状態が良好で、作動状態も良好である。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来栄が良好である。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 保身に配慮した施工がなされている。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>					<input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。			
		<p>① 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。</p> <p>② 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が2項目以下の場合は、一律C評価とする。</p> <p>④ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p>								

別紙9 (4)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事 機械設備工事	特に優れている (評価値が90%以上)	優れている (評価値が80%以上90%未満)	特に良好である (評価値が70%以上80%未満)	良好である (評価値が60%以上70%未満)	適切である (評価値が50%以上60%未満)	やや不適切である (評価値が50%未満)	不適切である		
	II. 品質	<p>●評価対象項目</p> <p>No 対象 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承認図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査結果等の結果の記録により、優れていることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることを確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>					<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、工事請負契約書第32条に基づく修補指示を検査職員が行った。		
		<p>① 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事も含まれる。</p> <p>② 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>③ 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>④ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>⑤ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p>								
III. 出来ばえ		a	b	c	d					
		優れている (評価値が90%以上)	良好である (評価値が80%以上90%未満)	適切である (評価値が80%未満)	劣っている					
		<p>●評価対象項目</p> <p>No 評価 評価</p> <p>1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 環境負荷低減への対策が優れている。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するため配慮がなされている。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>					<input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。			
		<p>① 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事も含まれる。</p> <p>② 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。</p> <p>③ 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>④ 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数が2項目以下の場合、一律C評価とする。</p> <p>⑤ 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除をしてもよい。</p> <p>⑥ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。</p> <p>【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 ※小数第2位四捨五入</p>								

別紙9 (5)

工事名

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

【 検査職員 】

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	解体工事	特に優れている	優れている	特に良好である	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である
	II. 品質	<input type="checkbox"/> c 評価とする。					<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、工事請負契約書第32条に基づく修補指示を検査職員が行った。
III. 出来ばえ		a 優れている (評価値が90%以上)		b 良好である (評価値が60%以上90%未満)		c 適切である (評価値が60%未満)		d 劣っている
		●評価対象項目 No 評価 評価 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋戻しや整地の状況がよい。 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来栄の良さが窺える。 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体残材は良好に除去され、ガラ等が残存していない。 4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体部分と周囲の敷地との取合いが適切に施工されている。 5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 残存する構造物に損傷が無く取合い部の施工が良好である。 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物(アスベスト・PCB・ダイオキシン・フロン等)の保管・運搬・処分が適正に行われている。 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)						<input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。
		① 評価の対象とする項目(「対象」欄のレ点)の数を母数として、比率(%)で評価する。 ② 工事内容により該当がなければ評価対象項目の削除をしてもよい。 ③ その他評価項目の追加は、理由を必ず明記する。						
		【比率計算】 評価値 <input type="text"/> % = 評価数 <input type="text"/> 項目 ÷ 対象項目数 <input type="text"/> 項目 × 100 <small>※小数第2位四捨五入</small>						

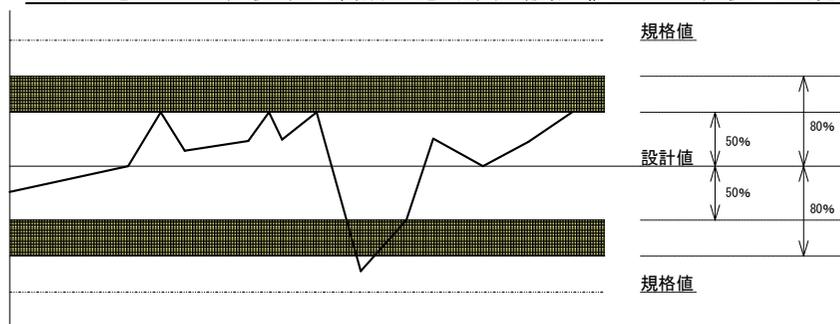
【記入方法及び留意事項】

1. 出来形及び品質のばらつきの考え方

[管理図の場合]

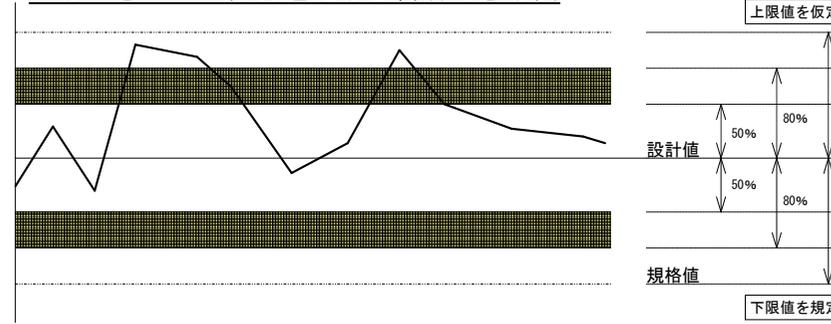
(上・下限値がある場合)

ばらつきが50%以下と判断できる例 (測定値の85%以上が規格値内)



(下限値のみの場合)

ばらつきが80%を超えると判断できる例



※測点数が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目で評価する。

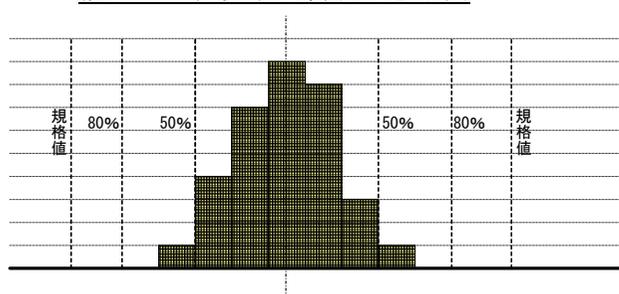
※上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきを考慮する。

(土木工事の場合)

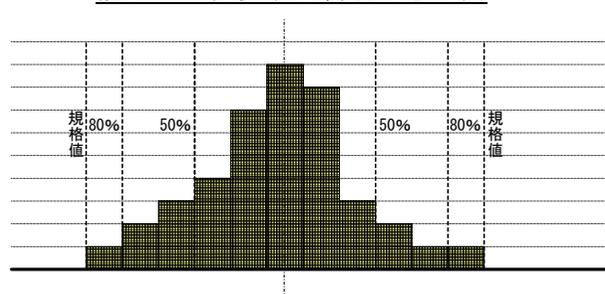
千葉県土木工事共通仕様書(施工管理基準)に基づき、出来形管理図表を省略できる測定数が5点未満の工事は、バラツキによる評価を行わないものとし、出来形測定結果一覧表から、すべての測点で規格値を満足していればC評価とする。評価対象とした工種において、測定数が5点未満の場合がこれに該当する。品質管理においても同様に、管理図の作成を省略できる測点数が10点未満の工事は、バラツキによる評価を行わないものとする。

[度数表または、ヒストグラムの場合]

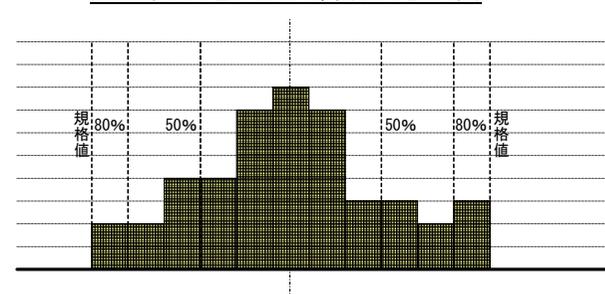
概ね50%以下と判断できる例



概ね80%以下と判断できる例



80%を超えると判断できる例



別紙10(2)

2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 工事全体の中から主たる工事で評定することとし、金額ベースで70%以上を占める工種を適用する。
- (2) 1工種で70%に満たない場合は、複数工種で考査することとするが、上位2工種に留める。
- (3) 複数工種で考査する場合でも、検査対象に重要構造物がある場合は、これを優先し上位2工種に取り込む。
- (4) 2工種で評価が分かれた場合は、低い工種で代表させる。(バランスがとれていることが高い評価の条件)
- (5) 中間、出来形、完成のすべての検査で当該工事の主たる工種で評定するものとする。なお、中間、出来形検査時の評定に当たって上位2工種の進捗が少ないなど、評定することが不適当な場合は評定しないことが出来る。この場合は、別紙1の所見欄にその理由を記すと共に、後の検査時の評定のため必要に応じて、「考査項目別運用表」の品質及び出来ばえについて可能な範囲の記入を行い、別紙1に添付する。
- (6) 「品質」「出来ばえ」とも考査項目の追加は認めない。また、不要項目については適宜削除する。
- (7) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、c評価とする。
- (2) 「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、状況に応じて、dまたはe評価とする。

4. その他

- (1) 「施工プロセス」のチェックリストを活用して、評定を行う。
- (2) 「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、受注者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。
- (3) 考査項目別運用表の内、新たな工種を作成使用するときは、工事検査主管課に協議すること。

別紙12(1)

創意工夫・社会性等に関する実施状況（土木工事）

工事名			受注者	
項目	評価内容	実施内容		
<input type="checkbox"/> 創意工夫 自ら立案実施した創意工夫や技術力	<input type="checkbox"/> 施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前の現地調査に関する工夫 ・ 施工に伴う器具、工具、装置等の工夫 ・ 施工方法の工夫、施工環境の改善 ・ 仮設備計画の工夫 ・ 施工管理の工夫 ・ ICT（情報通信技術）の活用 等 		
	<input type="checkbox"/> 品質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土工、設備、電気の品質向上の工夫 ・ コンクリートの材料、打設、養生の工夫 ・ 鉄筋、コンクリート二次製品等使用材料の工夫 ・ 配筋、溶接作業等の工夫 等 		
	<input type="checkbox"/> 安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全衛生教育、講習会、パトロール等の工夫 ・ 仮設備の工夫 ・ 作業環境の改善 ・ 交通事故防止の工夫 ・ 環境保全の工夫 等 		
	<input type="checkbox"/> その他			
<input type="checkbox"/> 社会性等 地域社会や住民に対する貢献	<input type="checkbox"/> 地域への貢献等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺環境への配慮 ・ 現場環境の周辺地域との調和 ・ 地域住民とのコミュニケーション ・ 災害時など地域への支援や行政などによる救援活動への協力 等 		

1. 該当項目のにレ点マークを記入する。
2. 具体的内容の説明として、写真・図面等を別紙説明資料に整理する。

別紙12(2)

創意工夫・社会性等に関する実施状況(建築・設備工事)

工事名		受注者	
項目	評価内容	実施内容	
<input type="checkbox"/> 創意工夫 自ら立案実施した創意工夫や技術力	<input type="checkbox"/> 準備・後片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・測量、位置出し、現地調査方法における工夫 等 	
	<input type="checkbox"/> 施工	<ul style="list-style-type: none"> ・施工に伴う器具、工具、装置類の工夫 ・工事加工製品等による廃棄物の減少、リサイクルへの取組み ・施工方法の工夫 ・施工管理の工夫 ・工期短縮等の工夫 ・既存施設、近隣等に対する工夫 等 	
	<input type="checkbox"/> 品質	<ul style="list-style-type: none"> ・躯体工事の品質管理の工夫 ・検査、試験、品質記録方法に関する工夫 等 	
	<input type="checkbox"/> 安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生教育、講習会、パトロール等の工夫 ・仮設備等の工夫 ・作業環境の改善 ・交通事故防止の工夫 ・改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 等 	
	<input type="checkbox"/> 施工管理	<ul style="list-style-type: none"> ・出来形管理、施工計画書、写真記録等に関する工夫 等 	
	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 社会性等 地域社会や住民に対する貢献	<input type="checkbox"/> 地域への貢献等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境への配慮 ・現場環境の周辺地域との調和 ・地域住民とのコミュニケーション ・災害時など地域への支援や行政などによる救援活動への協力 等 	

1. 該当項目のにレ点マークを記入する。
2. 具体的内容の説明として、写真・図面等を別紙説明資料に整理する。

別紙12(3)

創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）

工 事 名			/
項 目		評価内容	
実施内容			
(説 明)			
(添付図)			

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別様とする。

年 月 日

様

成田市長

工事成績評定通知書

貴社が受注した工事について、工事成績評定等実施要領第7条の規定に基づき再評定した結果を通知します。

記

工 事 名	
工 事 場 所	
工 期	自 年 月 日 至 年 月 日
完成検査年月日	年 月 日
当初評定点	点
修正評定点	点
備 考	

(あて先) 成田市長

受注者名

工事成績評定の説明請求

年 月 日付けにて通知がありました工事完成検査結果通知書（工事成績評定通知書）について、下記のとおり説明請求いたします。

記

1. 工事名

2. 工事成績評定点

工事検査結果通知書（ 年 月 日）による工事成績評定点
点

（評定点が修正された場合）

工事成績評定通知書（ 年 月 日）による修正評定点
点

3. 請求内容

年 月 日

様

成田市長

工事成績評定の説明請求に対する回答

年 月 日付けにて説明請求がありました工事成績評定について、下記のとおり回答いたします。

記

1. 工事名

2. 工事成績評定点

工事検査結果通知書（ 年 月 日）による工事成績評定点
点

（評定点が修正された場合）

工事成績評定通知書（ 年 月 日）による修正評定点
点

3. 請求に対する回答

(あて先) 成田市長

受注者名

工事成績評定の再説明請求

年 月 日付けにて回答がありました工事成績評定の説明請求に対する回答について、下記のとおり再度説明請求いたします。

記

1. 工事名

2. 再説明請求する理由

年 月 日

様

成田市長

工事成績評定の再説明請求に対する回答

年 月 日付けにて再説明請求がありました工事成績評定について、下記のとおり回答いたします。

記

1. 工事名

2. 工事成績評定点

工事検査結果通知書（ 年 月 日）による工事成績評定点
点

（評定点が修正された場合）

工事成績評定通知書（ 年 月 日）による修正評定点
点

3. 再請求に対する回答

工事成績評定評価委員会
委員長 様

成田市長

工事成績評定結果審議依頼書

このことについて、工事成績評定等実施要領第9条第3項の規定に基づき意見を求めます。

記

説明請求日	年 月 日
説明請求の内容	
工事担当部課	部 課
工 事 名	
工 事 場 所	
受 注 者 名	
契 約 金 額	円
評 定 点 (ランク)	点 (ランク)
評 定 者	主任監督員職氏名
	監督員職氏名
	検査職員職氏名

添付図書：説明請求及び回答、再説明請求、工事成績評定表、検査関係資料その他
委員長が必要と認めた書類